

参加費
無料定員 **40**名

魚が消えて行く 本当の理由とその対策

開催日時

2026.
10 / Sun
11

講師

Fisk Japan株式会社
代表取締役**片野 歩 氏****【略歴】**

大手水産会社で20年以上毎年ノルウェーを主体とする国々からサバをはじめ買付と販売に携わる。当時中学生だった子供の夏休みの宿題がきっかけで、世界と日本の水産資源管理の違いに気づき発信を始める。

東洋経済オンライン、Wedge ONLINEで連載。Youtube おさかな研究所。

著書・日本の水産資源管理他。テレビ出演・新聞掲載等多数。
東京海洋大学 特任教授。

開場・受付開始 13:00～
講演 14:00～15:30

会場

放送大学高知学習センター
3階講義室（大）
高知市曙町2-5-1（高知大学内）

日本の漁業生産量（漁業と養殖）は毎年過去最低を更新。1980年代の1200万トンの3分の1以下の400万トンを切って減り続けている。学校では、日本の水産業が衰退したのは、1977年の200海里設定や、後継者が不足しているからなどと教えている。しかしながら、世界全体では全く様相を異にする。1980年代に1億トンだった漁業生産量は倍の2億トンを超えて、毎年過去最高を更新。特に水産業を成長産業にしている北米・北欧・オセアニアなどでは水産資源管理が機能していて大成功をおさめている。一方で、日本では、魚が獲れなくなった原因は、海水温上昇、外国船のせいなどと責任を転嫁して報道。それらに原因がないとは言わないが、成功と大失敗（日本）の違いは資源管理制度の違いにある。それを消費者としてできることも含めて分かりやすく解説。水産資源管理に関して世論が正しい前提を持たないと改革は進まない。

お申込み
お問い合わせ

放送大学高知学習センター

開所時間 9:10～17:00 ※月・火・祝日は閉所

TEL:088-843-4864 MAIL:kochi39@ouj.ac.jp

申込締切 10月7日（水）

フォームからのお申込みは [こちら](#)高知学習
センターHPQRコードから
簡単お申込み

後援

高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社・RKC高知放送
NHK高知放送、KSSさんさんテレビ、KUTVテレビ高知、エフエム高知